

うえだ 環境市民会議 News

第39号
ニュース

うえだ環境市民会議の活動には、誰でも、どのプロジェクトチームにも参加できます。参加ご希望の方は、生活環境課までご連絡ください。豊かな環境を未来に残すために、一緒に活動しましょう。

この情報誌は自治センター、公民館、図書館、情報ライブラリー、ひとまちげんき・健康プラザうえだ、市生活環境課の窓口で配布しております。

発行：うえだ環境市民会議

〒386-8601 上田市大手一丁目11-16
上田市生活環境課内

電話：0268-23-5120

FAX：0268-22-4127

E-mail：seikan@city.ueda.nagano.jp

市民がつくった電力会社。ドイツ・シェーナウの草の根エネルギー革命。 『シェーナウの想い』 上映会 & ミニトーク

この映画はドイツ南西部の森の中にある小さな町シェーナウ市の住民グループが、チェルノブイリ原発事故をきっかけに「自然エネルギー社会を子どもたちに」という想いから、ドイツ史上初の「市民の市民による市民のための」電力供給会社を誕生させるまでの軌跡を綴ったドキュメンタリー映画です。

全国でとても話題になっている映画ですから、ぜひこの機会にご覧ください。

- 日時：平成**25**年**1**月**26**日(土)**13:00** 開場
13:30～14:30 『シェーナウの想い』 上映
14:30～15:30 ミニトーク（映画の感想をみんなで話し合しましょう）
- 会場：上田市中心公民館 3階 大会議室
- 入場料：無料
- 主催：うえだ環境市民会議
- 協力：（一社）長野県環境保全協会

◆ お問い合わせ ◆

うえだ環境市民会議事務局 / 上田市役所生活環境課 電話 23-5120

「レジ袋無料配布中止」を提唱

千曲川流域レジ袋削減協議会副会長 山口春香

去る9月14日、阿部長野県知事は環境保護、マイバッグ普及の観点から「レジ袋無料配布中止」を提唱し、来春を目前に県内全域での協力を呼びかけると発表されました。これはレジ袋無料配布中止により、ごみの減量、二酸化炭素(CO₂)の排出量の削減につながるものです。

県の調査では、全県のマイバッグ持参率が現在の約50%から目標値の90%になれば、ごみの量は約1,700ton、原油は約3,800kl、レジ袋の年間使用枚数は約2億800万枚削減でき、袋を作る際や廃棄して燃やす際のCO₂排出量は約2,800世帯の1年分に相当する約13,000tonが削減できるそうです。

県は上記のことを推進するため、事業者、各種団体、市町村からなる「長野県レジ袋削減推進協議会」を設立し、11月20日に発足、初会合が開かれ、来春からの「レジ袋無料配布中止」に向け、動き出しました。また、12月18日には、長野市若里市民文化ホールに於いて「マイバッグ持参推進の県民大会」が開催されました。

ここに至るまでには、「千曲川流域レジ袋削減協議会」の地道な活動と県(廃棄物対策課)との意見交換、要望を重ね、レジ袋削減県民スクラム運動など、できる限りの協力をし、漸く県の重い腰を上げることができました。

これは、私たちの設立目的である循環型社会の形成と地球温暖化防止に向けた環境

に優しい生活様式への転換を目指し、事業者、市民、行政が協働して安心安全な住み良い長野県にするための一歩です。

来春の「レジ袋無料配布中止」(レジ袋有料)に関しまして、長年にわたり市民、事業者、各種団体、市町村の皆様のご理解・ご協力に感謝申し上げますとともに、今後の活動にさらなるご協力をお願い致します。

ロケットストーブ・ワークショップに参加して

茶木あかね

薪ストーブを設置して早5年。ご近所に迷惑にならないように煙を出さずに焚くには薪の量が半端じゃなかった我が家。いくら自然エネルギーと言えども有限。ロケットストーブのうわさを聞いたのが3年くらい前で、去年ワークショップに参加するも作らずじまい。今年こそは！と思っているところへ今回のワークショップの話、しかもくじに当たれば作ったロケットストーブを破格の5,000円で持って帰れるという！なんて美味しい話！(当たればね)



▲講師の小田切隆一さん



当日会場へ行くと家のかまどをロケットストーブに改造した私の尊敬する方も来ていて、説明を聞きながら「くじに当たるかもしれないけど、一から作ればいいじゃん」と言われ、「そりゃそうだ～！ そっちの方が身になる」と思ってただけど、「とはいえクジを引く権利だけは使っところ」と、うちの娘がクジを引く瞬間も「いやむしろ当たなくていい！」なんて言っていたら、これが当たったのですね！ つくづく親孝行な娘です。ハイ。



▲ Aグループのロケットストーブが完成

▲ みんなでロケットストーブを組み立てました
ありがたくいただいて帰り、さて既存の煙突を外そうと思ったら、どうも切るしかないってんで、上田地域通貨「蚕都くらぶ・ま～ゆ」のお仲間に助っ人の打診。さっそく家に助っ人が来てくれました。煙突をグラインダーで切ってもらったり、一緒に煉瓦を積んだりしていろいろお話ししながら完成させました。

さていよいよ試運転。この時ロケットストーブを見に（冷やかに？）来ていた友人3名がおりました。焚付けたところ煙が



▲ Bグループのロケットストーブも完成



▲ 茶木さんの家では、蓄熱のためにロケットストーブの周りに土が塗ってあります

逆流し炎が焚口から上がってまるで火事です。友人たちが煙い中「ロケットストーブって普通のストーブと何が違うの?」と聞いてきます。めちゃくちゃ煙い中「燃やすところを断熱するから完全燃焼して排気がきれいなんだよ・・・」、この現実との違いに一同大爆笑。助っ人のおじさんが焚口に扇風機で風を送り込んでいます。「薪ストーブなのに電気要るね?」とまた大爆笑。しかし、これが功を奏してやっと着火しました。ところが今度は(煤も出ないはずなのに)木酢液がぼたぼた。この調子で行くとみんなに木酢液がプレゼントできそうです。「煙突んとこにお鍋ぶらさげて液が溜まったらひっくり返ってドバーっとかかるね」とまた爆笑。さて、その後はやはり焚付けのたびにモクモク、着実にたまる木酢液。木酢液を伝えるため竹を長く割って装置を作ったりした後、まさかと思いつつ煙突掃除を始めたところ、どろどろのタールと一緒に

身に覚えのない草が出てきました。シーズンオフの間に鳥が巣でも作ろうとしたのでしょう。煙突掃除の後、どんどん煙を吸ってくれ本来のロケットストーブのゴーという音と暖かさが稼働し始めました。

なんてことはない初歩的ミス! 煙突が詰まっていただけでした。というわけでストーブの調理スペースに加え、排熱でお湯は作れるようブリキの洗面器を置くスペース、次にU字溝をひっくり返したベンチとあったかスペースが完成しました。ここに座って寝る前絵本を読んだり、足湯をしたりしています。そして今までと違って蓄熱してくれるので朝でもほんの〜り寒くないです。細い薪でも十分な炎になりますし、薪の消費量も大幅ダウン! 皆さんも自分なりのロケットストーブ生活はいかがですか?



▲ 炎が横(パートンネル)に吸い込まれ、煙がまったく出ません